

## 分倍河原駅周辺まちづくり協議会 全体会 議事録

1 日 時：令和元年7月18日（木）午後7時～8時45分

2 場 所：片町文化センター3階第1会議室

3 出席者：都市整備部地区整備課 職員6名

分倍河原共栄会 6名

片町二丁目自治会 3名

片町3丁目自治会 1名

美好町3丁目自治会 1名

分梅第一自治会 1名

NREG東芝不動産㈱ 1名

国際航業㈱（コンサルタント） 2名

4 資 料：次第

資料1 まちづくり基本計画（仮）策定に向けた今後の進め方（予定）

資料2 分倍河原駅周辺まちづくりについて

5 内 容

(1) まちづくり基本計画策定に向けた今後の進め方について

・資料1を用いて、まちづくり基本計画策定に向けた今後の進め方について市より説明した。

(2) 分倍河原駅周辺まちづくりについて

・8月下旬に開催する全体説明会の内容について市より説明した。

（○：出席者からの質問等、→：意見への回答等）

○駅西側に広場を設置するという話は無くなったのか。また、都市計画道路3・4・6号線について再検討するとのことであったが、今後の市の考え方はどのようなものか。（片町二丁目自治会）

→駅北西側からのアクセス道路の整備及び東西自由通路の整備を想定しており、駅北西側に広場を整備することは現時点では想定していない。また、都市計画道路3・4・6号線については、東京都の都市計画道路の整備方針（第四次事業化計画）において計画内容再検討路線という位置づけとなっている。方向性については都と協議中であるが、整備を進めていきたいという方向では考えていない。（市）

○交通量の問題は、旧鎌倉街道で十分対応できるということか。そのような話は、市から都へしていないのか。（片町二丁目自治会）

→都との協議は行っているが、計画内容再検討路線というのは、必要性はあるが計画の内容を再検討するという位置づけである。3・4・6号線は、交通の処理機能や延焼遮断帯、高安寺へのアクセス機能としての必要性を持つ道路との位置づけになっている。交通処理は鎌倉街道で捌くことができないか、延焼遮断帯は鉄道がその機能の代替となり得るか、高安寺へのアクセス機能については市道4-139号の改良で機能を代替できない

かなどの検討を行っている。(市)

○今回の目的は、まちづくり提案書及び地域交通戦略の内容をとりまとめて、まちづくり基本計画を作成するということだが、今の提案では、まちづくり提案書そのままである。また、まちづくり提案書及び地域交通戦略のうち、何を削って、何を追加したのか。まちづくり提案書をそのまま基本計画にしているという印象を受ける。何が変わったのかが分からないと、8月の説明会に地区住民に集まってもらっても、前回のまちづくり提案書説明会の内容と一緒にになる。大きな話として、駅をどうするのかははっきりしていない。まちづくり提案書と比べ、より良いものが出来たという感じを受けない。このまま持っていったらがっかりされると思う。(分梅第一自治会)

→交通戦略は交通施策に特化した計画であり、まちづくり提案書は協議会の皆さまからのまちづくりに関する提案である。まちづくり基本計画は、それらを踏まえ、市として今後どのようにまちづくりを進めていくのかを示した方針である。また、駅については、鉄道事業者の所有であり、市としても鉄道事業者と協議をしているが、整備イメージ等を公表するタイミングは鉄道事業者が判断するものになっており、現時点で市の方から方向性を出すのは難しい。よって、駅舎については、鉄道事業者と一緒に改良を進めていくという表現に留めている。(市)

○8月の全体会議では何を説明するのか。ほとんどまちづくり提案書と内容が変わっていないと思う。(分梅第一自治会)

→基本計画は地元からの提案を受けて、市としてのまちづくりの方針を示すものである。中身は重複する部分もあるが、位置づけが違う。(市)

○5月に別の組織の集まりの中で、京王の開発推進本部の課長と話ができる機会があった。その際、分倍河原駅の改良について京王はどのように介入しているのかを聞いたが、京王は駅舎の敷地に対して割合が小さいので、意見を言える立場にないという話であった。そうすると、JRが先頭に立つ相手になると思う。市でJRと協議していると思うが、JRからの要望など、駅舎の方向性について具体的なものが出ているのか。JRとすれば、市がこういうことをやれば動くことができるという考えを持っていると思う。(片町二丁目自治会)

→現在、JR、京王を中心に検討しているが、駅舎自体は京王が持っており、駅の運営も全て京王である。そういう面で京王としても意見を言っている。一方で、土地はJRであるため、JRがどうするかということも多分にある。階段が1か所しかなくホームも狭いなど、課題が多いのはJRのほうである。現時点では、具体的な方向性を出せるレベルまで検討が煮詰まっていない。JR、京王が提案を打ち出すにはもう少し時間がかかると思う。ただ、検討は前進しており、止まることはないと思う。(市)

○詳細は述べられないが階段を上っているということか。(片町二丁目自治会)

→そうである。(市)

○交通戦略のステップ2(大規模改修を伴う新たな拠点の形成)を見せるのであれば、京王線の東西自由通路ができるというイメージを与えることになる。(分梅第一自治会)

→あくまで目標であるが、10年程度で東西自由通路や駅舎についても着手していきたい考えである。(市)

- 提案書の説明会と同じことを言うなら、市としてこういう方針でやっているということ  
を具体的に言わないと集まった人は納得しないと思う。（分梅第一自治会）
- 東西自由通路のイメージはグランドレベルなのか、地下道なのか、人工地盤のようなもの  
のか。電車が止まる部分であると思うが、イメージを聞きたい。（分倍河原共栄会）
- イメージとしては、現状ホームがあるので、上を通るか地下を通るかである。地下とな  
ると費用もかかり、線路への影響もあるため課題がある。現時点では、駅と一体となっ  
て線路の上を通る跨線橋のようなものを想定している。（市）
- J R、京王と一緒に話すものである。私は、北側に地下を開発してはどうかという提案  
をした。広場の整備をぼやかして表現しているが、現在は過密な商店がある。線路の下  
に代替地を作って交換しないと土地が空かないと思う。広場の整備は具体的にどのよう  
な手法で展開していくのか。まちづくり提案書から踏み込んでいないと思う。（分倍河  
原共栄会）
- 広場については、現状土地がないので、地権者の協力が必要であり、用地を買収してい  
く必要がある。今後、地権者の意向を伺いながら事業手法等を決めていきたい。土地が  
駅前に無い場合周辺の方々のご理解・ご協力を得て買収をしないと実現しない。（市）
- 土地の買収について協議会の中で何回も言っているが、広場の面積はどのくらいの規模  
を考えているのか。測量を一昨年やっていたので現況の把握が出来ており、具体的にど  
の家が対象となるか分かると思う。現在、分倍河原駅前に住んでいる人は駅から1分か  
からないで電車に乗れる。地権者に協力をお願いする上で、駅に近い場所をあてがって  
あげないといけないと思う。それを早く言ってあげないと結局広場の方向性が定まらず、  
先が見えてこない。具体的にここだという場所を示さないといけない。（片町二丁目自  
治会）
- 地権者のご協力無しには進まない。まずは地権者の意向を聞いて、それを踏まえ決めて  
いきたい。そのあたりは今後地権者に話をしていく。（市）
- 具体的にいつから動くのか。（片町二丁目自治会）
- 挨拶をした人も既におり、今後順次話をしていく。（市）
- 広場のおおよその規模の方向性は出ていないのか。（片町二丁目自治会）
- 北側は、南側のような一般車両が入ってくるイメージではない。歩行者のたまり場のよ  
うなもので、緊急車両が入ってきても切り返しができるような小規模なものを考えてい  
る。（市）
- 東日本大震災の際も、大雪の際も駅前で人が溢れどうしようもなかった。府中で一番乗  
降客数が多い駅である。緊急時にどのくらいの広場が必要か、地理的な要因も含めて考  
えなければいけないと思う。（片町二丁目自治会）
- 人の流れや交通量、地形的なものを含め今後検討していく。買収する範囲も考えながら  
検討していく。（市）
- そういうものを早く見たい。（片町二丁目自治会）
- 地区計画について、地権者と3回程度の検討会で、次の説明会で何か言えるような状況  
にはならないと思う。あまりにも色々な要素がある。具体的な考えを示して地権者と話  
す必要がある。（分梅第一自治会）

→今日はまちづくりのイメージなので、前回から進んでいないイメージを受けてしまうかもしれないが、最終的に基本計画案として作り上げていく際には、事業範囲や事業内容、実施スケジュール等を、地元の意向も踏まえて落とし込んでいきたい。(市)

○来月の説明会まで時間がないと思う。(分梅第一自治会)

→来月の説明会では今日示しているイメージをベースに説明することになるが、そこからスピードを出して今年度末までには基本計画案を出すようにしたい。(市)

○地区計画はいいが、余程のまとまりがないとまとまらないと思う。国立でマンション紛争があった時は地域の皆さんが一致団結して、いち早く地区計画を策定した。それだけの力がないと難しいと思う。(片町二丁目自治会)

→地域の方のご協力なしにこのスケジュールでは進められないので、目標として1年でまとめていきたいと考えている。地域の皆さんの意向を伺いながら進めていきたい。(市)

会長：そのほかに意見はないか？

○高安寺の西側の市道整備について、道路を広げるしかないかと思うが、雑木林は単純に広げられるかもしれないが旧甲州街道の手前は家が建っているので中々難しいと思う。(片町二丁目自治会)

→交通戦略にも記載しているが、市道4-139号については拡幅したいと考えている。権利者の意向が一番重要なので、意向を聞きながら進めていきたい。(市)

○今までの話を聴いて具体的になってきたと思う。今までのコンサルタントが国際航業に代わった経緯は何か。今までのコンサルタントと我々はうまくいっていると思っていた。まちづくりは継続性であり変更したのはなぜか素朴な疑問である。買収の問題が出てきたが、都市計画の具体的な手続きは2、3か月で簡単にできるのか。広場は前回より具体的になった。東西自由通路の位置については変更になったようであり、この点は理解しやすくなったと思う。駅前の広場については権利者に影響してくるので、関係者からすると一番神経を尖らせる所である。想定している車両がタクシーなのか、緊急車両なのか、トラックなのかによって違ってくると思う。買収について話が出た以上は議論に値する具体性が必要になる。地権者等に対して責任がある内容になると思う。(分倍河原共栄会)

→継続性も重要であるが、競争の原理があり競争入札の結果、今回の業者が国際航業となった。(市)

○期限が来たから変わったというのであれば分かるが、これまでのコンサルタントとはうまくいっており、過去の経緯等についても聞くことが出来る。新しいコンサルタントは、これまでの内容が分からない。まちづくりの継続性を考えるとなぜ変えたのか、わからない。(分倍河原共栄会)

→首都圏総合計画研究所も参加して入札したが、金額が最も低い国際航業が落札した。(市)

○経済性だけを重要視したのか。(分倍河原共栄会)

→役所は基本的には競争であり、何かしらの理由がない限り随意契約にはならない。まちづくり提案書の作成までは首都圏総合計画研究所と随意契約であった。昨年度提案書が

完成し、今回は節目ということで入札とした。(市)

○前回作られた模型は市に納品したもののか。(分倍河原共栄会)

→市で保管しているので持ってくることはできる。(市)

○首都圏総合計画研究所とは何年もやってきた。その中で細かくサポートしてくれて、非常に良いコンサルタントであったと思う。しっかりとやってくれたということは市民のみなさんが分かっており、市の担当者も分かっていると思う。今回のような10年越しでやっていくプロジェクトは住民側に立ってサポートしてくれるコンサルタントが良い。それをやっていたのが首都圏総合計画研究所である。(片町二丁目自治会)

→行政側としても透明で競争性を確保した適正な業務発注に努めないといけない。その際には、しっかりとした仕様書をもって、業務内容について適正に執行していただくことを約束したうえで契約している。まちづくりは継続性であることは十分に理解している。それを踏まえたうえで、提案書を作るという1つの区切りまでは随意契約という形をとっていた。違う取組になった際に、業者が変わることで新たな視点で見ることができるといふこともある。今回は国際航業に代わったが、市としてもまちづくりを着実に進められるよう、しっかりと仕様書を作り契約している。期待に応えられるように市と国際航業含め対応していくのでご理解いただきたい。(市)

○このようなまちづくりにおいて競争政策というのは無理があり破綻してしまうと思う。競争政策だと必要論だけになってしまう。まちづくりの観点からいうと、多くの犠牲を伴うとしたら、その犠牲に対してどれだけまちづくりの中でその人たちを生かしてやっていくのかを議論する必要がある。それには時間もコストもかかるが、競争政策ではそれを否定することになる。これまでの協議内容が新しいコンサルタントは分からない。協議会が3～4回で終わるのであればこれまでの意見を言うことができない。(分倍河原共栄会)

→財産を所有する方の協力がないと実現しない事業をこれから進めていこうとしているため、過去の検討を含め、今後どのような方向性で進めていくのかを考えなければならぬと思う。そうした中で、公費を支出するうえでの整合性をいかに図っていくのかを考えるのは我々市の仕事であると思っている。先ほどの競争性の話については、分倍のまちづくりを全て競争性で考えていくということではなく、市役所の手続きの根本の在り方について話をさせていただいた。今後話を進めていく中でどのような手続きをすればみなさんと有意義な議論ができるか、しっかりと整理しながら進めていきたい。(市)

○皆様が不安を抱いているかと思われているため、会社の説明をさせていただきたい。総合建設コンサルタントであり、日野に事業所があったが府中市に移設してきた。首都圏総合計画研究所がまとめている成果もあるため内容をきちんと把握し、市及び皆様のご意見を伺いながら、一生懸命取り組みたいので宜しくお願いしたい。(国際航業)

○後で名刺を配ってほしい。(分倍河原共栄会)

→承知した。今日出席している社員以外にも携わっているものがあるため宜しくお願いしたい。(国際航業)

○次回の協議会で、駅舎改良に関するJRと京王の工程表を作成して欲しい。(分倍河原共栄会)

- 工程については基本協定の合意を結んでから決定するものとなっている。(市)
- 交通戦略では、JRと京王の駅舎改良の工程は10年以内であることになっている。そこから遡って工程を作成することを次回までの宿題にしてほしい。(分倍河原共栄会)
- 駅舎の改良について今決まっているのは、交通戦略のスケジュールだけである。(市)
- JRと京王の工程が長くて10年であるならば、JRと京王の工程表が議論として出されていることを示してほしい。いつまで経っても分かりませんという状況であり、まち側だけが具体論で話をするのは片手落ちである。JRと京王の工程表を示してもらい、それと合わせてまち側の議論を進めるべきだと思う。(分倍河原共栄会)
- 協議会の発足した際に、再開発ではなく駅舎の改良であるというところからスタートしたため、10年という区切りを作ったと記憶している。(片町二丁目自治会)
- 交通戦略の策定の際には、概ね10年で進めていくという目標で位置づけをした。鉄道事業者に対しても市としての本気度を示す意味もあった。現在、合意に向けて協議している段階であり、その先のスケジュールは何も決まっていない。鉄道事業者と合意が出来たタイミングでみなさんにスケジュールの目安をお示ししたい。それが3年後、5年後になるとは考えていない。(市)
- 今の軌道は変えないで行くというスタンスがあると思うが、その切り口について枠組みが出来ているのであれば話は次々に進むと思うが。(片町二丁目自治会)
- 乗換駅であるため、JRと京王の調整が必要である。(市)
- 利益をあげる商売を持ち込んで駄目である。交通戦略を策定したという時から予算がつき事業が進んでいる。鉄道側と市側でそれぞれの方向性が決まっているのに、いつになるか分からないというのは、税金を払っている市民から考えるとおかしい。なぜ調査をしていて進まないのかということである。まちづくりは資本の論理として進めていくものではない。利益を上げるのではなく熱をかけてじっくり考えていかないといけない。(分倍河原共栄会)
- 駅を含め市として考えているスケジュールが交通戦略のものである。具体化については、合意のタイミングでないとJRも京王も出してくれない。(市)
- 現在JRと京王の乗換え場所の幅員が狭いという話に対しては幅員を広げるしかない。また、広場を整備するのであれば、今の土地の条件で具体性を帯びたものを出さないと、いつになっても見えてくるものが見えてこない。市からJRに具体的なものを示すなど踏み込んでも良いのではないか。(片町二丁目自治会)

会長：意見が出ているが本日は時間的に終了となる。色々出た意見に対して市の方で検討していただきたい。

### (3) 分倍河原駅周辺まちづくりについて

- 地区住民向けの全体説明会を8月の平日と休日に2回実施する。日程は8月29日(木)夜と31日(土)午前中の2回で、内容は同じである。詳細は別途連絡させていただくが、提案書を提出いただいた協議会の立場として皆様にもぜひご出席いただきたい。(市)

以上